

令和4年度 第9回 県有林林産物 一般競争入札

公 売 公 告 並 び に 明 細 表

令和5年2月1日

公 売 公 告

第9回 県有林林産物 一般競争入札を次により林務環境事務所長が執行しますので、現物熟覧のうえ入札に参加してください。

なお、現地案内については、公売を執行する林務環境事務所県有林課におたずねください。

1 売払物件の番号および所在地
別紙明細書のとおり。

2 伐採・搬出の条件
諸法令による制限行為の定めを遵守してください。
箇所ごとの条件については、別紙明細書備考欄に記載してあります。

3 売払物件の搬出期間
別紙明細書備考欄のとおり。

4 入札場所および日時
* 受付時間に遅れた場合は、入札に参加できませんのでご注意ください。

公売執行 月日	入札場所	執行者	受付	入札開始	開札
一般公売 令和5年2月14日 (火)	甲州市塩山上塩後 1239番地1 東山梨合同庁舎 1階103会議室	峡東 林務環境 事務所長	9時40分 ～ 9時55分	10時00分	入札終了 後即時
一般公売 令和5年2月16日 (木)	西八代郡市川三郷町 高田111-1 西八代合同庁舎 2階大会議室	峡南 林務環境 事務所長	9時40分 ～ 9時55分	10時00分	入札終了 後即時
一般公売 令和5年2月17日 (金)	都留市田原2-13-43 南都留合同庁舎 4階 B・C会議室	富士・東部 林務環境 事務所長	9時40分 ～ 9時55分	10時00分	入札終了 後即時

峡東林務環境事務所 県有林課 経営担当 TEL 0553-20-2724

峡南林務環境事務所 県有林課 経営担当 TEL 055-240-4187

富士・東部林務環境事務所 県有林課 経営担当 TEL 0554-45-7815

5 入札参加資格

(1)山梨県物品等競争入札参加資格者名簿「森林整備(23-6)」または「森林整備(70-3)」及び「その他不用品の買入(15-12)」または「木材買入(51-3)」の業種へ登録した者とします。入札日には「物品等競争入札参加資格審査結果通知」及び別紙「誓約書」を持参してください。ただし、地方自治法施行令第167条の4第2項各号の規定に該当すると認められる者でないこととします。

(2)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)でないこと又は法人であってその役員が暴力団員でないこととします。

(3)この公告の日から開札の日までの間に、山梨県物品購入等契約に係る指名停止等措置要領(平成10年4月1日)に基づく指名停止を受けている日が含まれている者でないこととします。

6 入札保証金

免除します。(山梨県財務規則第108条の2第2項適用)

ただし、落札者が契約を締結しないときは、入札金額の100分の5に相当する違約金を徴収します。

7 入札

消費税抜きの価格で入札してください。

8 契約保証金

免除します。(山梨県財務規則第109条の2第4項又は第5項適用)

ただし、契約者が納入期限までに売買代金を完納しないときは、延滞違約金(遅延損害金)の徴収、又は契約解除し契約金額の100分の10に相当する違約金の徴収を行います。

9 契約締結期限

契約担当者が契約の時期を別に指定した場合を除き、落札の通知を受けた日から7日以内とします。

10 代金納入および担保提供期限

契約締結の日から30日以内とします。

11 代金延納

認める場合があります。(要領は別記のとおり)

12 郵便入札

認めます。この場合は公売を執行する林務環境事務所に入札書を公売執行の前日(前日が閉庁日の場合は、その直前の開庁日)の午後5時までに到着するよう書留で郵送してください。なお、「立木入札書在中」と明記してください。

13 代理入札

この場合委任状に委任者の入札参加証を添付し、公売を執行する林務環境事務所に提出してください。

14 再入札

初回において入札しなかった者及び無効の入札をした者は再入札に参加できません。

15 遵守事項

入札者は公売を執行する林務環境事務所において契約書案を了承し、山梨県恩賜県有財産管理条例、同施行規則及び入札心得書を遵守してください。

16 入札の無効

この公告に示した入札参加資格のない者の行った入札、入札条件に違反した者の行っ

た入札、入札者に求められる義務を履行しなかった者の行った入札、その他山梨県財務規則(昭和39年山梨県規則第11号。以下「規則」という。)第129条各号のいずれかに該当する入札は、無効とします。

17 そ の 他

落札者が契約締結までの間に「5 入札参加資格」に掲げた参加資格のうち、一つでも満たさなくなった場合は契約を締結しません。また、この場合において、県は損害賠償の責めを負わないものとします。

別記

代金延納要領

種別	延納を認める場合	延納期間	担保の種類	延納利息
立木	資金の回収期間が6箇月以上で、1件の売払代金が100万円以上になる時	4箇月以内 ただし1,000m ³ 以上を売り払うときは8箇月以内	①利付国債 ②その他政府の保証のある債券 ③銀行法により免許を受けた銀行が引受けをし、又は裏書をした手形	年利 1.00% (違約金) 年利 14.60%
素材	1件の売払代金が20万円以上になる時	3箇月以内		

(別紙)

誓 約 書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、県が必要な場合には、山梨県警察本部に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が県と行う他の契約等における身分確認に利用することに同意します。

記

- 1 自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。
 - (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - (2) 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者
 - (4) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者
 - (5) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - (6) 下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方が上記(1)から(5)までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結している者
- 2 1の(2)から(6)に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

令和 年 月 日

林務環境事務所長 殿

〔 法人、団体にあつては事務所所在地 〕

住 所

〔 法人、団体にあつては法人・団体名、代表者名 〕

(ふりがな)

氏 名

㊞

生年月日（大正・昭和・平成・令和） 年 月 日

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林班 小班	面積 (ha)	樹 種	用途	径級区分 (cm)	本数 (本)	材積 (m ³)	搬出期間 備 考
峡東	208	笛吹市 大積寺	114 ～1	1.33	すぎ	用材	22～28	23	12.60	搬出期間 22ヶ月
						〃	30～34	11	7.31	
						小計		34	19.91	
					ひのき	用材	16～20	12	1.31	部分林 水源涵養保安林 砂防指定地 75年生人工林
						〃	22～28	175	68.40	
						〃	30～34	140	130.67	
					あかまつ	用材	36～40	23	32.30	(公売条件)
						小計		23	32.30	
					からまつ	用材	22～28	69	32.25	1 伐倒木等の流出 防止、伐採法面の 崩落防止、表土の 流出防止等、林地 保全に十分配慮 し、必要に応じて 対策等を講ずること。
						〃	30～34	124	133.58	
						小計		193	165.83	
					用材計			577	418.42	2 集材搬出路、造 材作業箇所、材の 集積箇所及び残存 する末木枝条等 については、事前に 林務環境事務所と 協議すること。 3 既設林道、作業 道等を使用する場 合は、関係機関に 必要な手続きを行 うこと。 4 当該地へ至る大 積寺林道の果樹地 域を通行する区間 については、原則 として4～9月につ いては通行を行わ ず、通行の際も果 樹の枝を損傷しな いよう留意するこ と。なお、搬出期間 はこの期間を考慮 したもとなっている。 (調査方法) 樹種、材積の調査 方法は、標準地調 査法
					小径木(針)	チップ等		396	185.09	
					小径木計			396	185.09	
合計				1.33				973	603.51	

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積	搬出期間 備 考
峡南	303	南部町 中乙	174た1外	5.62	すぎ	用材	22～28	295	191.55	搬出期間 22ヶ月 水源かん養保安林
						〃	36～40	1,623	2,400.38	
						〃	56～	59	212.65	
							小計	1,977	2,804.58	
					ひのき	用材	16～20	59	13.64	60～78年生人工林 (公売条件) 1 伐倒木等の流出 防止、伐採法面の 崩落防止、表土の 流出防止等、林地 保全に十分配慮 し、必要に応じて対 策等を講ずること。
						〃	22～28	498	236.89	
						〃	30～34	1,193	1,349.94	
						〃	56～	18	42.71	
						小計		1,768	1,643.18	
						用材 計			3,745	4447.76
					小径木(針)	チップ等		292	208.59	2 残存する末木枝 条の処理について は、林務環境事務 所と協議すること。
					小径木(広)	チップ等		2	0.12	
						小径木 計		294	208.71	
										3 集材搬出路、造 材作業箇所、材の 集積箇所等につい ては、林務環境事 務所と協議するこ と。 4 既設林道、作業 道等を使用する場 合は、関係機関に 必要な手続きを行 うこと。 (調査方法) 樹種、材積の調査 方法は、標準地調 査法による。
合計				5.62				4,039	4,656.47	

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積 (m ³)	搬出期間 備 考
富士・ 東部	412	上野原市 黒茂	215 は7,8	2.41	すぎ	用材	22～28	4	2.00	12ヶ月
						〃	30～54	62	84.51	一般林
										水源かん養保安林
										53～54年生人工林
										(公売条件)
					小計			66	86.51	1 伐倒木等の流出防止、伐採法面の崩落防止、表土の流出防止等、林地保全に十分配慮し、必要に応じて対策等を講ずること。
					ひのき	用材	22～28	294	123.85	2 集材搬出路、造材作業箇所、材の集積箇所及び残存する末木枝条等については、事前に林務環境事務所と協議すること。
						〃	30～54	588	342.03	
					小計			882	465.88	3 既設林道、作業道等を使用する場合は、事前に関係機関に必要な手続きを行うこと。
										(調査方法)
										樹種、材積の調査方法は、標準地調査法による。
					用材木計			948	552.39	
小径木(針)	チップ等		604	256.23						
小径木(広)	チップ等		97	1.54						
小径木計			701	257.77						
合計				2.41				1,649	810.16	

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積 (m ³)	搬出期間 備 考			
富士・ 東部	413	富士吉田市 梨ヶ原	409 は5	4.72	からまつ	用材	30～54	926	1,252.20	15ヶ月 部分林 演習場内 107年生人工林 (公売条件)			
								小計		926	1,252.20		
						しらべ	用材	12～28	139	39.33	1 北富士演習場内 のため、特に大径木 では被弾木の恐れが ある。また、演習実施 等に伴う立入制限が 発生する。 2 伐倒木等の流出 防止、伐採法面の崩 落防止、表土の流出 防止等、林地保全に 十分配慮し、必要に 応じて対策等を講ず ること。 3 集材搬出路、造材 作業箇所、材の集積 箇所及び残存する末 木枝条等について は、事前に林務環境 事務所と協議するこ と。 4 既設林道、作業道 等を使用する場合 は、事前に関係機関 に必要な手続きを行う こと。		
							"	30～54	46	18.51			
								小計		185	57.84		
								用材木計		1,111	1,310.04		
												(調査方法)	
								小径木(針)	チップ等	231	81.44	樹種、材積の調査方 法は、標準地調査法 による。	
								小径木(広)	チップ等	1,296	196.21		
								小径木計		1,527	277.65		
合計				4.72			2,638	1,587.69					

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積 (m ³)	搬出期間 備 考
富士・ 東部	414	富士吉田市 梨ヶ原	409 は5	3.94	からまつ	用材	12~28	105	49.16	14ヶ月
						〃	30~54	662	780.32	部分林
						〃	56~	35	87.17	演習場内
										107年生人工林
										(公売条件)
						小計		802	916.65	
					しらべ	用材	12~28	174	40.79	1 北富士演習場内のため、特に大径木では被弾木の恐れがある。また、演習実施等に伴う立入制限が発生する。 2 伐倒木等の流出防止、伐採法面の崩落防止、表土の流出防止等、林地保全に十分配慮し、必要に応じて対策等を講ずること。
						小計		174	40.79	
									3 集材搬出路、造材作業箇所、材の集積箇所及び残存する末木枝条等については、事前に林務環境事務所と協議すること。	
									4 既設林道、作業道等を使用する場合は、事前に関係機関に必要な手続きを行うこと。	
					用材木計		976	957.44	(調査方法)	
樹種、材積の調査方法は、標準地調査法による。										
	小径木(針)	チップ等	558	131.10						
	小径木(広)	チップ等	1,255	123.78						
小径木計		1,813	254.88							
合計				3.94				2,789	1,212.32	

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積 (m ³)	搬出期間 備 考					
富士・ 東部	415	鳴沢村 絶頭	432 ろ28,29	5.66	あかまつ	用材	12～28	548	271.37	18ヶ月 部分林 普通林 国立公園 第2、3種特別地域 70年生人工林 (公売条件) 1 伐倒木等の流出防止、伐採法面の崩落防止、表土の流出防止等、林地保全に十分配慮し、必要に応じて対策等を講ずること。 2 集材搬出路、造材作業箇所、材の集積箇所及び残存する末木枝条等については、事前に林務環境事務所と協議すること。 3 既設林道、作業道等を使用する場合は、事前に関係機関に必要な手続きを行うこと。 (調査方法) 樹種、材積の調査方法は、標準地調査法による。					
						〃	30～54	942	1,012.57						
							小計	1,490	1,283.94						
					からまつ	用材	12～28	1,099	533.46						
						〃	30～54	339	344.15						
								小計	1,438		877.61				
					その他針葉樹	用材	12～28	57	17.42						
						〃	30～54	38	56.01						
								小計	95		73.43				
							用材木計		3,023		2,234.98				
		小径木(針)	チップ等		850	354.47									
		小径木(広)	チップ等		2,671	55.04									
		小径木計		3,521	409.51										
合計				5.66				6,544	2,644.49						

第9回 (2月分) 一 般 公 売 (立木の部)

所別	公告 番号	市町村 字	林 班 小 班	面 積 (ha)	樹 種	用 途	径級区分 (cm)	本 数 (本)	材 積 (m ³)	搬出期間 備 考		
富士・ 東部	416	富士吉田市 梨ヶ原	409 に5	5.38	あかまつ	用材	12~28	749	370.05	15ヶ月		
						〃	30~54	374	311.11	部分林		
										演習場内		
										55年生人工林		
										(公売条件)		
									小計	1,123	681.16	
					からまつ	用材	12~28	1,403	468.77	1 北富士演習場内の ため、特に大径木では 被弾木の恐れがある。 また、演習実施等に伴 う立入制限が発生す る。		
						〃	30~54	187	140.35			
									小計	1,590	609.12	2 伐倒木等の流出防 止、伐採法面の崩落 防止、表土の流出防 止等、林地保全に十 分配慮し、必要に応じ て対策等を講ずること。
					もみ	用材	12~28	47	16.37	3 集材搬出路、造材 作業箇所、材の集積 箇所及び残存する末 木枝条等については、 事前に林務環境事務 所と協議すること。		
									小計	47	16.37	
					しらべ	用材	12~28	94	36.96	4 既設林道、作業道 等を使用する場合は、 事前に関係機関に必 要な手続きを行うこと。		
						〃	30~54	187	175.90			
				小計	281	212.86	(調査方法) 樹種、材積の調査方 法は、標準地調査法 による。					
				用材木計		3,041	1,519.51					
				小径木(針)	チップ等		1,544	436.95				
				小径木(広)	チップ等		281	5.61				
				小径木計			1,825	442.56				
合計				5.38			4,866	1,962.07				